

安曇野市 重大ニュース 2023



三郷西部認定こども園 新園舎が完成

新園舎が完成し、7月24日から保育を開始しました。地元産木材を使った、温もりのある園舎で子どもたちがのびのびと生活しています。

園庭芝生化工事など、全事業が完了するのは令和6年夏頃となります。



三郷東部認定こども園 新園舎造成に着手

設計や開発手続き等が完了し、園舎建設に先立って令和5年10月から造成工事に着手しました。

これに引続き、園舎建設工事を行い、園舎本体は令和7年5月末の完成を予定しています。



産後ケア事業サービスの拡大

産後に医療機関又は助産所で心身のケアや育児のサポートが受けられる産後ケアのサービスが、宿泊に加え、通所や訪問でも利用できるようになりました。利用料の8割を市が負担しています。



アピアランスケア 支援事業の開始

がん治療で生じた外見の変容を補うための補整具等購入費用の助成を開始しました。

- ・頭髪補整具 1人1回
- ・乳房補整具 左房・右房それぞれ1人1回
- ・その他補整具 1人1回



新生児聴覚検査 費用の助成を開始

難聴の早期発見・早期治療のために、生まれてすぐに行う聴覚検査費用の助成を4月から開始しました。

受検票を対象者に交付し、上限1回5,500円まで助成します。



子ども食堂等の 開設・運営を支援

食事の提供や学習支援など、子どもが安心して過ごせる居場所づくりを行う団体を支援するため、子ども食堂等に対する補助金を新設しました。

今年度は、4団体からの申請を受け付けています。



気軽に介護予防！ 「フレフィット」開始

介護予防・フレイル予防ができる体操の動画配信事業「フレフィット」の運用を開始しました。

インターネット環境と視聴端末があれば、自宅での個人利用や、地域の集会所等での団体利用が可能です。



農産物トップセールス シンガポールで実施

7月に市長・JAあづみ組合長らがシンガポールで安曇野産農産物のPRを実施しました。

現地では、日本食レストランでバイヤーや現地メディアを招いた試食会の開催や、現地小売店の視察などを行いました。



ニホンザル 追い払い隊を結成

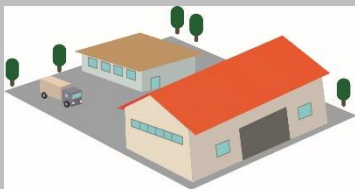
西山山麓で農作物等の被害をもたらすニホンザルを山へ追い返すため、「ニホンザル追い払い隊」を8月に結成しました。

結成後は、サル出没地域で、毎日追い払いを実施しています。



市内企業の事業規模拡大を支援

既存工場の増改築や設備更新を促すため、企業の敷地内における土地利用の規制(緑地面積率など)を緩和する「安曇野市工場立地法に基づく準則を定める条例」を4月に施行しました。



新たな産業団地の造成に向け始動

新たな雇用の確保やさらなる地域経済活性化を目的に、穂高北穂高地区で新たな産業団地の造成に向け動き出しました。住環境との調和を図りつつ、優良企業の誘致を目指します。



観光総合パンフを一新 ひがし山マップも好評

市の観光総合パンフレットをリニューアルしました。光城山・長峰山を紹介するため、新たに作成した「ひがし山マップ」も好評で増刷になるなど、アウトドア・アクティビティの内容を充実させ、市の魅力を発信しています。



コロナ前の規模で安曇野花火を開催

新型コロナ5類移行に伴い、観光需要が徐々に戻る中、安曇野花火を通常規模で開催しました。「レジューム(再会)安曇野」をテーマに打ち上げられた色とりどりの花火を多くの観光客や市民の皆さんが楽しみました。



ハーフマラソン&前日イベントの開催

新たな試みとして、第9回信州安曇野ハーフマラソン大会の前日にスポーツフェスティバルを開催し、大盛況となりました。大会当日には、5,784人のランナーが参加し、初夏の田園地帯を駆け抜けました。



5地域のお祭りが復活!

コロナ禍で縮小や開催されなかった市内5地域のお祭りが、盛大に開催されました。お祭り会場は多くの市民でにぎわい、熱気と笑顔に包まれました。



災害時の物資集積拠点及び輸送体制の確保

災害時に(株)ハマキョウレックスあずみ野営業所の倉庫を市の物流拠点として活用し、支援物資の荷役作業や避難所への配送業務を行っていただく協定を結びました。このほか2社と災害時における物資の提供に関する協定を締結しました。



明科水氾濫対策排水ポンプ車が納車

明科地域内水氾濫対策として発注した排水ポンプ車が納車されました。災害時に備え訓練を行い、内水氾濫被害の軽減に努めてまいります。



安曇野ゼロカーボンシティ宣言を表明

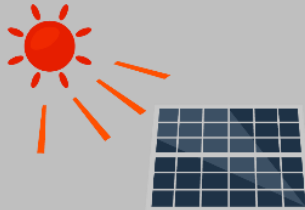
3月23日、気候変動による危機意識を強く持ち、安曇野の風土が育んできた豊かで良好な景観・自然環境を保全し、将来の世代に継承するため、2050年脱炭素社会の実現を目指しゼロカーボンシティを宣言しました。

地球が沸騰しています

2030年度のCO2削減目標
2013年度比50%削減

太陽光発電設備の設置等に関する条例を制定

災害の防止及び市の良好な景観・自然環境等の保全を図り、市民の生命及び財産を保護することを目的に、「太陽光発電設備の設置等に関する条例」を6月に施行しました。



明科駅前広場がリニューアル

都市再生整備計画事業を活用して整備を進めていた「明科駅前広場」が完成しました。駅周辺のリニューアルにより、安曇野市の東の玄関口としての利便性が高まりました。



2つ目のラウンドアバウトが開通

市道豊科1級24号線ラウンドアバウト交差点が8月に開通しました。市内では2つ目の整備となり、円滑な交通環境が確保されました。



東京藝術大学、京都芸術大学との連携

東京藝術大学出身の3人の若手芸術家が市内で制作活動を行い、市民との交流事業や作品発表を行いました。

今年度は新たに京都芸術大学と連携し、豊科北中学校美術部の皆さんが、大学院生と一緒に作品を制作しました。



8年ぶりに信州安曇野薪能を開催

8月19日、夕立が止んだ明科龍門湖公園で第32回信州安曇野薪能を開催しました。

子どもたちが仕舞を披露した後、一流の能楽師の舞台を県内外460人の皆さんが堪能しました。



外国籍市民相談窓口を市役所1階に開設

日々の生活等でお困りの外国籍市民の方々に、よりきめ細かな相談に応じられるよう、7月3日から市役所1階に「外国籍市民相談窓口」を開設しました。



クラムザッハと姉妹都市提携30周年

オーストリア共和国・クラムザッハとの姉妹都市提携が30周年の節目を迎えました。6月に15人の訪日団を受け入れ、9月には市長はじめ6人が公式訪問し、将来にわたっての交流の継続・発展を確認しました。



「安曇野」ナンバー 図柄案決定へ

安曇野市、生坂村、池田町、松川村の4市町村で導入を進めている「安曇野」ナンバーの図柄案が決定しました。

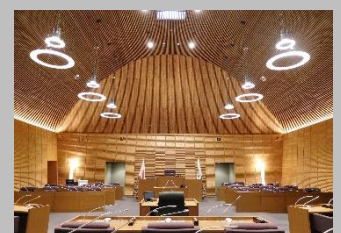
今後、国による図柄案への決定を経て、令和7年に本格導入される見込みです。



市議会第5期後半の体制決まる

申し合わせによる正副議長の任期(2年)を迎え、10月23日に第2回臨時会を開催しました。

新議長に松枝功議員、新副議長に小林純子議員が選出され、新体制で市議会の第5期後半がスタートしました。



他にも 2023年にはこんな出来事がありました

1 健康・福祉・子育て

- 出産・子育て応援給付金事業の開始
- 放課後児童クラブの6年生までの受入拡大のための教室改修工事に着手
- 黒沢洞合自然公園（三郷）の拡張整備に向けた基本設計に着手
- 行方不明者の早期発見・保護のための「安曇野市見守りシール」の利用を開始
- 聴覚障がいを持つ方への合理的配慮について学ぶ講演会を開催

2 産業・しごと

- 「あずさマルシェ in LUMINE AGRI MARCHE」をJR新宿駅で開催
- 銀座NAGANOで料理イベントを開催、関西圏で農産物販売会を開催
- 安曇野フルコース 第3弾「中華」、第4弾「イタリアン」を考案
- 凍霜害・ひょう害による農作物被害が発生
- 農地取得に係る農地法第3条の許可要件である「下限面積要件」が廃止に
- 里山再生団体「さとぶろ。機構」が設立
- 「安曇野市東部アウトドア拠点」の基本構想の策定に着手
- マウンテンバイクコースの管理に指定管理者制度を導入
- メタバース空間を活用した観光コンテンツの造成が始動

3 防災・環境・インフラ・暮らし

- 消防団応援キャラクター「ショウくん」の着ぐるみを作製
- 一般住宅用の太陽熱利用システムや蓄電池、V2H（電気自動車等充電設備）の補助を新設
- 市役所で通年ノーネクタイ・ノージャケットの取組を開始
- デマンド交通「あづみん」のLINEを活用した予約を開始、土・日・祝日の運行実証
- アクアピア安曇野で3年ぶりに「下水処理場見学会」を開催
- 「安曇野ぐらし」の魅力を発信！東京KITTE（東京駅前）でイベントを初開催
- 結婚新生活支援事業がスタート！新婚世帯の経済的負担を軽減

4 教育・文化

- 不登校児童生徒の支援を目的に、民間施設等連携支援員を配置
- 臼井吉見著 長編大河小説「安曇野」のパフレットを制作
- 安曇野アカデミーで長編大河小説「安曇野」を知る講座を計5回開催
- 三郷小学校の長寿命化改良工事に着手
- 堀金学校給食センターの改修工事に着手

5 協働・行財政

- 松本大学と連携した平和学習発表会を開催
- 「JREMALLふるさと納税」サイトでの寄附受付等を開始
- 広報あづみのをリニューアル
- 誰もが情報発信の場として利用できる「会現場」を整備
- 友好都市との青少年交流事業を再開
- 新計画「多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」がスタート
- 犯罪被害者等支援条例案を上程



安曇野

令和5年12月22日
安曇野市長 定例記者会見 資料